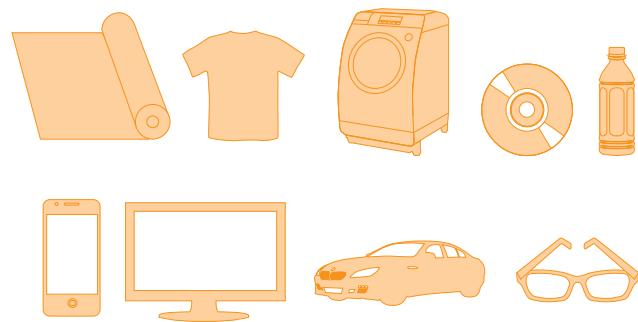


／／ そこにあるもの使うもの
カワタの技術が生きています。 ／／



株式会社 **カワタ**

〒550-0011 大阪市西区阿波座1-15-15
TEL (06)6531-8211
URL <http://www.kawata.cc/>



KAWATA IR Report

株主のみなさまへ

第68期 報告書 [平成28年4月1日から平成29年3月31日まで]

株式会社 **カワタ**

証券コード 6292



さまざまな分野に貢献するカワタの機器&システム

医薬品
Pharmaceuticals



食品
Food



金属
Metal



プラスチック
Plastic



化粧品
Cosmetics



セラミック
Ceramic



カワタの理想的な粉粒体のハンドリング技術が、幅広い分野と多様なニーズに、お応えしています

KAWATA's ideal powder and particle handling technology meets the diverse needs of a wide range of field.



顔料
Pigment



液晶用光学フィルム
Glass for LCD



レンズ
Lens



建材
Construction materials



リチウムイオン 二次電池
Lithium-ion rechargeable battery

WEBサイトのご案内

<http://www.kawata.cc/>



TOP MESSAGE

3ゲン主義を実践し、お客様満足を実現する製品とサービスを提供していきます

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社の第68期報告書をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年6月29日

代表取締役社長
白井 英徳



第68期財務ハイライト

売上高 **16,654** 百万円

営業利益 **518** 百万円

経常利益 **445** 百万円

親会社株主に
帰属する当期純利益 **211** 百万円

総資産 **17,986** 百万円

純資産 **7,677** 百万円

一株当たり
当期純利益 **29.84** 円

一株当たり
純資産 **1,065.07** 円

事業の概況

世界経済は緩やかな回復基調ではありますが、テロや紛争等の地政学的リスクが高まり、不透明な状況となっております。先進国におきましては、米国の新政権発足による影響や欧州における英国のEU離脱問題等、先行きに対する懸念が存在しております。一方、中国をはじめとする新興国の経済成長率も先進国と比較すると高いものの、その拡大テンポは緩やかになっております。

わが国経済は、一部で持ち直しの動きも見られるものの、急激な為替や株価の変動等もあり、総じて生産や設備投資には足踏みが見られ、企業収益や業況判断も緩やかな改善にとどまっております。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、平成28年4～6月は1兆321億円（前年同期比12.9%減）、7～9月は1兆520億円（同0.5%減）、10～12月は1兆800億円（同3.5%増）と伸び悩んでおり、平成29年1月は3,309億円、2月は3,508億円と、足元でも横ばいとなっております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、日本におきまして前年度に受注した海外向けの電池や電子部品関連の大型案件が寄与したものの、中国や東南アジアにおける前年度後半以降の急速な景気減速に伴う汎用品の出荷減少の影響が大きく、売上高は前年同期比8億8千万円減（同5.0%減）の166億5千4百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減に努めましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少による影響が大きく、営業利益は前年同期比2億2千1百万円減（同29.9%減）の5億1千8百万円、経常利益は前年同期比2億6千1百万円減（同37.0%減）の4億4千5百万円となりました。

特別損益では、前年度に中国の生産子会社における移転関連で差引4億6千9百万円の利益を計上していたこと、法人税、住民税及び事業税2億6千6百万円を計上

したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比5億7千6百万円減（同73.2%減）の2億1千1百万円となりました。

今後の見通し

当社グループの主力納入先であるプラスチック成形加工業界は、国内外での激しい技術革新と品質・価格競争の中にあります。

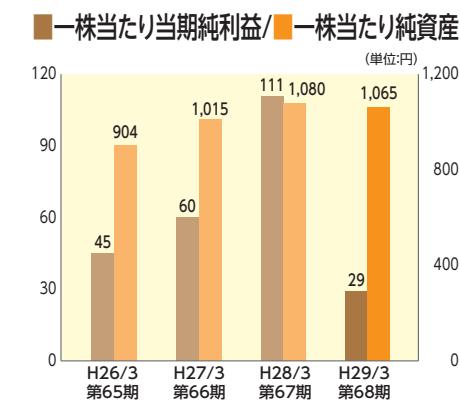
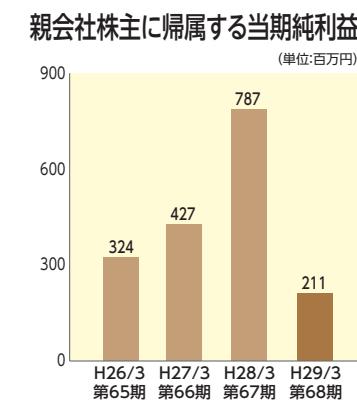
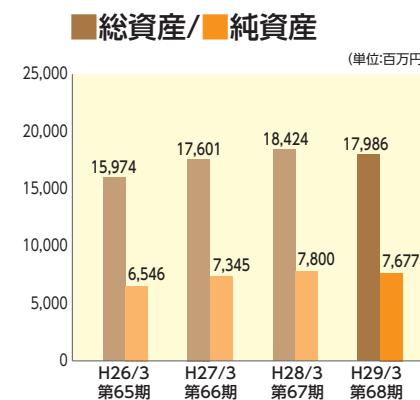
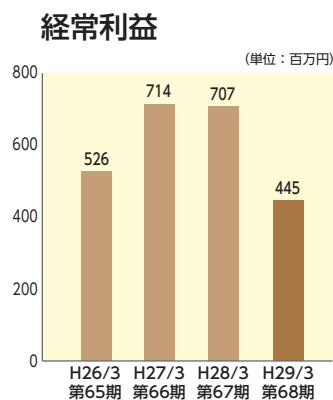
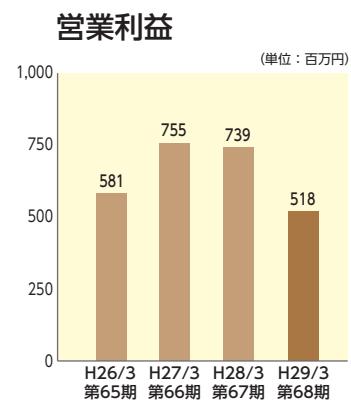
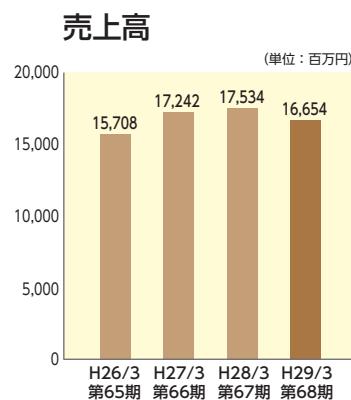
当社グループでは、かかる環境下、コア事業におきまして、生産拠点（日本、中国、東南アジア）及び営業・サービス拠点（日本、中国、台湾、東南アジア、北中米）相互の連携を強固にし、品質、コスト、納期、アフターサービスでの競争力を一層強化することにより、グローバル化するユーザーニーズへ対応しマーケットシェアの拡大と収益力の向上を図ってまいります。株主の皆様への還元（配当または自己株式の取得）を充実させる一方で、高付加価値製品の開発や新規販売分野・地域の拡大、新規事業開発や戦略投資等にも積極的に経営資源を投下

することにより、市場対応力のある企業として成長を続け、企業価値・株主価値を高めていくことを基本方針としております。中長期的には、株主資本と負債のバランスを適切な水準に維持しつつ自己資本利益率（ROE）を安定して8%以上確保できる事業構造の構築と、株主の皆様への総還元性向を安定して25%以上確保することを目標としております。

また、当社グループは、コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、人材の育成と強化等により、経営体質の一層の強化と透明性の向上を図ることを、経営上の重点課題と位置付けております。なお、コーポレート・ガバナンスの詳細につきましては、(株)東京証券取引所に「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」を提出するとともに、当社ホームページ（<http://www.kawata.cc/>）に、社是・経営理念、コーポレート・ガバナンス基本方針、社外役員独立性基準、グループ行動指針、環境理念と方針、経営方針、中期経営計画等を開示しております。

株主の皆様におかれましては今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト(連結)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

区分	当期末 平成29年3月31日現在	前期末 平成28年3月31日現在
【資産の部】		
Point 1 Point 2 流動資産	12,433	12,707
Point 2 固定資産	5,552	5,717
有形固定資産	4,417	4,632
無形固定資産	367	424
投資その他の資産	767	659
資産合計	17,986	18,424
【負債の部】		
Point 3 Point 4 流動負債	6,104	6,357
Point 4 固定負債	4,204	4,266
負債合計	10,309	10,623
【純資産の部】		
株主資本	7,135	7,016
資本金	977	977
資本剰余金	1,069	1,069
利益剰余金	5,132	5,013
自己株式	△43	△43
その他の包括利益累計額	407	636
非支配株主持分	134	147
Point 5 純資産合計	7,677	7,800
負債純資産合計	17,986	18,424

Point 1 流動資産の状況

流動資産は、前期末に比べて、現金及び預金、仕掛品が増加しましたが、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品が減少したこと等により2億7千3百万円減少し、124億3千3百万円となりました。

Point 2 固定資産の状況

固定資産は、前期末に比べて、建物及び構築物、機械装置及び運搬具が減少したこと等により1億6千4百万円減少し、55億5千2百万円となりました。

Point 3 流動負債の状況

流動負債は、前期末に比べて、支払手形及び買掛金が増加しましたが、1年内償還予定の社債、未払金、未払法人税等が減少したこと等により2億5千2百万円減少し、61億4百万円となりました。

Point 4 固定負債の状況

固定負債は、前期末に比べて、退職給付に係る負債、繰延税金負債が減少したこと等により6千1百万円減少し、42億4百万円となりました。

Point 5 純資産の状況

純資産合計は、前期末に比べて、利益剰余金が増加しましたが、為替換算調整勘定が減少したこと等により1億2千3百万円減少し、76億7千7百万円となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

区分	当期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
Point 6 売上高	16,654	17,534
売上原価	11,766	12,097
売上総利益	4,888	5,437
販売費及び一般管理費	4,370	4,698
営業利益	518	739
営業外収益	56	109
営業外費用	129	141
Point 7 Point 8 経常利益	445	707
特別利益	2	639
特別損失	40	179
税金等調整前当期純利益	407	1,166
法人税、住民税及び事業税	266	356
法人税等調整額	△62	15
当期純利益	202	794
非支配株主に帰属する当期純利益又は純損失(△)	△8	6
親会社株主に帰属する当期純利益	211	787

Point 6 売上高の状況

中国・台湾の景気減速による設備投資案件の減少、タイ・インドネシア経済の回復遅れにより、売上高は減少しました。

Point 7 経常利益の状況

材料費を中心に原価低減や諸経費の削減に努めましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少が大きく、経常利益は減少しました。

Point 8 特別利益・特別損失の状況

前期末は、中国子会社において工場移転関連で特別利益、特別損失を計上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	当期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
Point 9 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,128	743
投資活動によるキャッシュ・フロー	△580	△688
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233	△5
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	△75
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	254	△27
現金及び現金同等物の期首残高	3,958	3,986
現金及び現金同等物の期末残高	4,213	3,958

Point 9 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が4億7百万円となり、減価償却費2億8千3百万円、売上債権の減少8億3百万円、仕入債務の増加5億4百万円等の収入要因が、たな卸資産の増加3億7千6百万円、法人税等の支払額3億9千5百万円等の支出要因を上回り、11億2千8百万円の収入超過(前年同期は7億4千3百万円の収入超過)となりました。

TOPICS

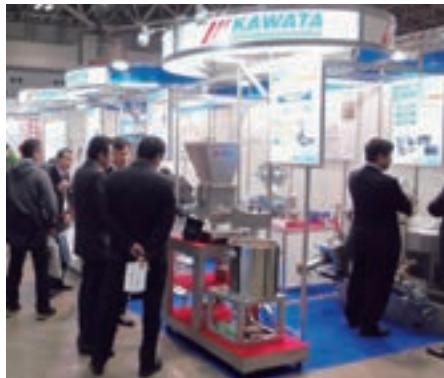
国際粉体工業展東京2016に出展

- 2年に一度、東京で開催されます国際粉体工業展東京2016に出展いたしました。
- 輸送・計量・混合・温度管理技術を基に開発しました粉体連続定量供給機ウイングスケーラーをはじめ、ナノ粒子の乾式分散が可能な高効率乾式分散混合機ナノパージョンなどを展示・ご紹介いたしました。

国際粉体工業展東京2016 概要

会 場：東京ビッグサイト 東ホール
 日 時：2016年11月30日(水)～12月2日(金)
 主 催：一般社団法人 日本粉体工業技術協会
 規 模：317社・団体
 来場者数：16,789名

主な出展製品



弊社ブースに多くの方が来られ、大盛況でした。



〈粉体連続定量供給機
ウイングスケーラーII〉

ウイングスケーラーIIは、切り出し羽根を個別モーターで駆動させることで、凝集固化しやすい粉体にも対応しています。



〈高速流動混合機
スーパーミキサー〉

省スペース、省電力、清掃作業効率向上を実現したSMV-20Ba(左)と、超高速で混合羽根が回転し分散性向上を実現した高効率乾式分散混合機ナノパージョンHEPD-2(右)。

カワタグローバルネットワーク

アジア



北中米



日本



国内 主な事業所

本 社	大阪市西区	静岡営業所	静岡市駿河区
大阪営業所	大阪市西区	名古屋営業所	名古屋市東区
仙台営業所	仙台市太白区	広島営業所	広島市南区
北関東サービス	群馬県高崎市	九州営業所	福岡市博多区
埼玉営業所	埼玉県川口市	三田工場	兵庫県三田市
東京営業所	東京都中央区	東京工場	埼玉県川口市
南関東営業所	神奈川県厚木市	大阪工場	大阪市西成区

(株)サーモテック	大阪市西成区
エム・エルエンジニアリング(株)	静岡県藤枝市
(株)レイケン	東京都中央区
(株)カンゲン	東京都中央区

会社情報

会社の概要 (平成29年3月31日現在)

商号	株式会社カワタ (KAWATA MFG. CO.,LTD.)
本社	〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番15号
設立	昭和26年7月13日
資本金	977,142,640円
従業員数	235名 (連結782名) (役員 出向社員 パート 嘱託は除く)

役員 (平成29年6月29日現在)

代表取締役社長	白井英徳
取締役	白石 互
取締役	森畑秀則
取締役	柴孝幸
取締役	藤坂祐宏
取締役	高塚雅博
取締役常勤監査等委員	城豊治
取締役監査等委員	軸丸欣哉
取締役監査等委員	伊藤芳伸
取締役監査等委員	石田章

株式情報

(平成29年3月31日現在)

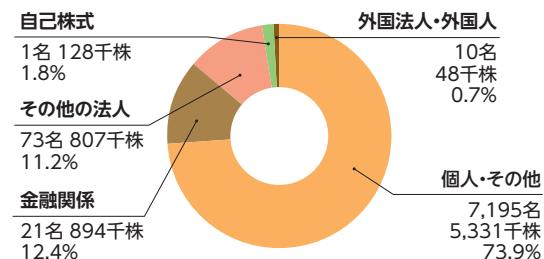
発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,210,000株
単元株式数	100株
株主数	7,300名 (前期末比3,380名増)

大株主の状況

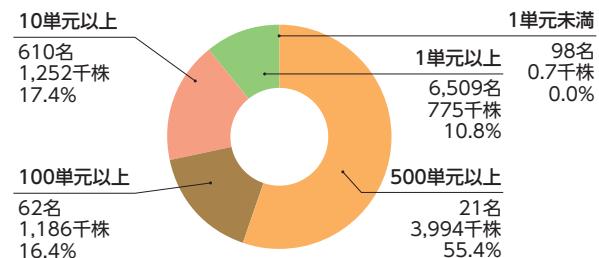
株主名	持株数
カワタ共伸会	794,800株
カワタ従業員持株会	497,180
(株)三菱東京UFJ銀行	351,000
高塚雅博	350,000
太田敏正	277,470
高塚順	150,000
川田昌美	149,442
王秋玲	145,000
川田修弘	144,774
(有)カワタ	119,000

(注) 上記のほか、自己株式が128,216株あります。

所有者別分布表



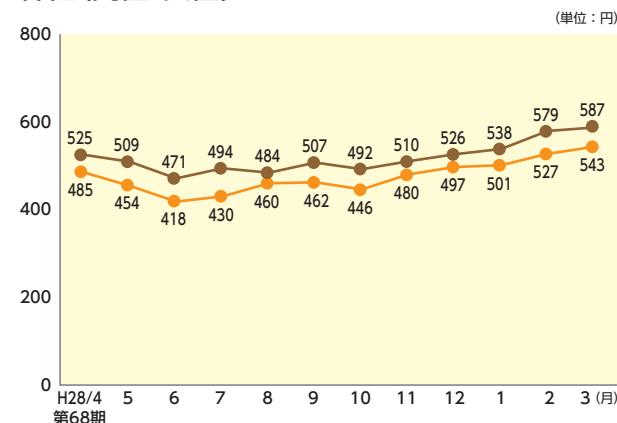
所有株式数別分布表



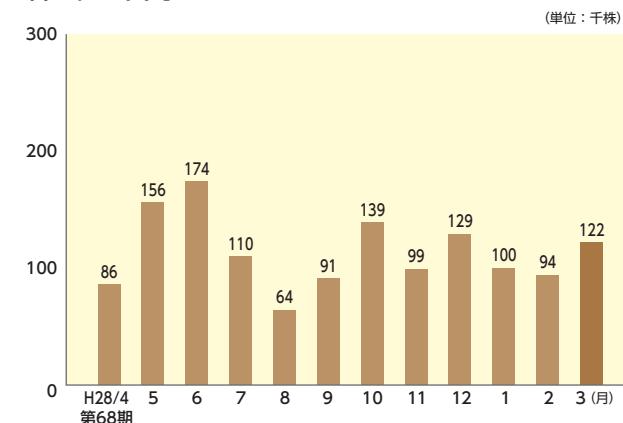
株式情報

株価チャート

株価(高値・安値)



株式出来高



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777 (通話料無料)

公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
------	--

当社ホームページ
(<http://www.kawata.cc/>) に掲載

上場証券取引所	東京証券取引所
会計監査人	新日本有限責任監査法人

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。